

北広島町 定住者の声



▲青年海外協力隊の語学訓練で知り合ったという伸也さんと佐知子さん。お二人の明るくフレンドリーな気質をしっかりと受け継いだ子供たちは、自慢の愛車を披露してくれるなど、サービス精神たっぷり。笑いの絶えない楽しい取材となりました。

移住までの経緯を聞かせてください。

僕はもともとこの出身なんですけど、生まれたときから親に一度も「(家業を) 継げ」とは言われたことはないんです。大学も酪農とは関係ない、経済の方へ進んで…。就職するときに初めて考えて、「酪農もええなあ」と(笑)。そこから、庄原の農業大学校に行って、勉強しました。そのあと、継ぐ前に外で修業してこいということで、2,000頭も牛がいる大きい牧場で働かせてもらって、戻ってきました。一昨年こっちへ来るまでは島根の江津に6年いたので、向こうは海沿いだったから景色が変わりましたよね。行っても行っても山しかない(笑)。(伸也さん)

私は、親が転勤族だったんですが、横浜、仙台、尼崎…と、移り住む先はずっと都会ばかりだったので、田舎に憧れはありました。帰ってくる前に遊びに来たこともあって、田舎らしい田舎でいいなあと思っていました。青年海外協力隊で海外の田舎に行っていたので、それに比べたら実家がある横浜からも近いし、国内だから言葉は通じるし文化は同じだし。まったく抵抗はありませんでした。(佐知子さん)

帰ってこようと思ったきっかけは？

カッコよくいうと「帰ってくる場所を守りたい」と思ったんですよね。姉と弟がいるんですけど、3人全員が家業を継がなかったらふるさとがなくなってしまうじゃないですか。生まれた時から家で取れた米を食べたから、今さら買うのもイヤだなというのもあって…。同年代でこっちへ帰ってきてる人も、同じことを言ってたんですよね。で、やっぱり米を作っているんです。

今はまだ米作りは親にまかせてて自分はしてないんですけど、牧場のことも含めて親が元気なうちに引き

継ぎをしておきたかったのと、子どもたちが小学校に上がる前に、というのがあったので、上の子が年中のときに引っ越しました。咲良ちゃんは、まだ4ヶ月くらいでした。(伸也さん)

結婚してからは、こちらへ来る前も野菜とかお米とかを送ってもらっていて、ぜんぜん違うなと思っていました。独身のときは外食が大好きで、チェーン店とかでも美味しいと思って食べていたんですが、久しぶりに行ったら「あれ？こんなだったっけ？」と…。素材の美味しさが違うんですね。最近もたまに外食するんですが、そのたびに「思ったのと違う」ってなります(笑)。(佐知子さん)

移住したときの印象は？

18歳で市内へ出て33歳のとき戻りましたが、そんなに変化はなかったですね。若い人がおることが、「雰囲気変わったな」とは思いましたけど…。まだ帰ってきて時間が経ってないからわからないだけかもしれないけど、昔は閉鎖的というか、自分らのルールを守ろうとして「自分らに合わせえ」という感じだったけど、今は新しい人と地元の人がお互い手探りで距離をつかもうとしている感じで、入りやすくなったんじゃないかと思います。そのへんが、雰囲気が変わったかなと思います。(伸也さん)



▲インタビュー中もお父さんにべったりな末娘の咲良ちゃんと、長男・健吾くん。みんな仲よしな三戸ファミリーです。

前に住んでいたアパートは子供がいっぱいて、いつも一緒に遊んでいたんです。草むらで虫を捕ったり、家に遊びに来ることもあって、伸也さんが帰ってきたら玄関が(子供たちの)クツでいっぱいだったり…。すごく楽しかったんで、それがパツパツなくなってしまったのが寂しくて…。どうやって過ごそうか、まだ模索中です(笑)。(佐知子さん)

お仕事は？

家の近くにうちの牧場があって、そこで仕事をしています。主には、牛たちにごはんをあげて、乳搾りをして、妊娠・出産しないと乳が出ないので人工授精をして…というような仕事です。(伸也さん)

こっちに来るとき、手伝っても手伝わなくてもいいと言われていたので、「じゃあ、いいかな」と思って、手伝ってません(笑)。子どもたちは、市販の牛乳は好きで飲むんですけど、うちのは濃すぎてダメみたいで…。私は好きですけどね。伸也さんは、市販のはほとんど飲まなかったですね。帰ってくる前から。仕事は、今はしていませんが4月からいちばん下の咲良が保育所に行きはじめるので、何かしようかなあと思っています。(佐知子さん)

▼竜之介くんと咲良ちゃん



ご近所づきあいは、どうですか？

近所の方々には、よくしてもらってます。何も無い田舎で目的や高い志を持って暮らしている人たちがたくさんいて、尊敬する人ばかりです。(佐知子さん)

大雪が降ったある日、近所の山下(真矢)隊長(笑)号令のもと、みんなで「かまくら」を作ろうということになりました。暖が取れる場所があった方がいいだろうということで、集会所の横で。子どもたちや地域の人たちが集まって、大きなかまくらができました。寒くなったら集会所で暖まったり何か食べたりしながら、めいっぱい雪で遊びました。大きなことじゃなくても、たとえばこういう小さなことで集まって、大人の私たちも楽しめるよう

な地域になっていけばいいなと思いました。(伸也さん)

移住してよかったことは？

学生時代、ソフトテニスをやっていたんです。知らなかったんですけど、北広島町はソフトテニスと関係が深いじゃないですか。千代田で一般の人向けの教室もあるみたいで、嬉しくて。就職してからは活動しているところが近くなって、長いブランクがあったんですが、去年「どんぐり北広島」さんのクラスに2回ぐらい参加させてもらったんです。その前にすこし硬式テニスをやったりもしてたせいか、感覚がおかしくてぜんぜんうまくできなかったんですけど……。咲良が保育園に入ったら、またやりたいなと思ってます。大好きなソフトテニスを再開できると思うと、今からワクワクします。

あと、お米や野菜が美味しい。子育てに関しても、地元（横浜）の友だちから保育園や幼稚園に入れなとか、予防接種の順番待ちが長くてメールで順番のお知らせが来るとか聞くんですけど、ここではそんなことないし、そういうところは楽ですね。

雪がすごい積もるのも、大変だけど楽しいです。島根の黒松というところは、沖縄までとはいかないけど、その次くらいに海がキレイなんです。そこも1時間半くらいで行けるので、夏は海で遊んで、冬は雪で遊んで…と、季節ごとに楽しめます。(佐知子さん)

大変だったことはありますか？

いちばん心配だったのは、子どもの遊び相手がいるのか？ということでした。地域に自分だけかもしれないと思っていたので…。でも、まあちょっと離れているけどわりと（子どもが）おるけえ、よかったです。(伸也さん)

もっとこうだったらいいのに…なんてこともありますか？

土日も含めて、いつでも子供たちが集まったり、雨の日でも遊べるような場所があったらいいなと思います。子育て支援センターは保育園の先生がやっているから、土日もやらせるわけにいかないし、別の場所で何かできないかなと。

たとえば、島根にいたときは公民館を月に1回開放して、おじいちゃんとおばあちゃんが遊んでくれました。手作りのおやつを食べさせてもらったり、写真が好きな人が撮ってくれた写真をアルバムに入れて番号を振って「ほしい人は名前を書いてね」とか…。忙しい若い人が無理をしてやらなくても、時間にゆとりのある、できる人にお願いしたらいいと思うんです。おじいちゃん、おばあちゃんも、いろんな得意なことがあったりすると思うし。

それと、スクールバスを増やしてほしいなという希望もあります。バス停まで1kmくらいあるんですけど、クマがいて危険だから一人で歩かせられないという理由で親がつきそわなければいけないんですけど、本数が増えたら家の前まで来てくれることもできるだろうし、親の負担が減るのかなと。

クマ対策も、きちっとしてほしいんですよね。いたら駆除とかじゃなくて、どうして道に出てくるのかとか根本的なところを対策してもらいたいです。だって、昔は出なかったって言うじゃないですか。出てきたから殺した、では何も変わらないと思います。せっかく自然豊かなのに、クマが危険だから遊びに出られないというのはどうなんだろうと思いますよね。(佐知子さん)



▲ママ目線から、体験談をまじえてさまざまな要望を語ってくれた佐知子さん。暮らしの中からうまれた生の声は、なるほどと思わされることばかりです。

北広島町は農業をしている人が多くて、お母さんが子どもの面倒を見なきゃいけない家庭が多いと思うんですよね。だから、そういう（子どもが集まって遊べるような）場所があったらお母さんたちが助かるだろうし、僕としても楽だなという気はしますね。僕はずっと田舎で育ちましたけど、田舎の遊びって、よくわからないんですよね。新しく来た人に、たとえば山菜のこととか、田舎の楽しみ方を教えてくれる人がいたら、もっと楽しんでもらえるのかなと思います。（伸也さん）

移住を検討している方へのメッセージ

何もしなかったら何も無いけど、自分からアクションを起こして「教えてください」ってお願いしてみたら世界が広がる。自分次第で楽しめると思います。「山菜って？知らない」と言ったら「教えてあげる」と言ってくれる人がいて、てんぷらにして食べたり、シイタケとかブルーベリーとか作っている人が近所にいて、「採りに来ていいよ」と言ってくれたので行かせてもらったり…。これも無い、あれも無いと嘆いてい



▲元気いっぱいの子どもたち（左から竜之介くん、健吾くん、咲良ちゃん）。ひな人形の前で写真を撮る…とお願いしたのですが（取材日：3月3日）、まったく人形が見えていません（笑）。

ても始まらないけど、自分が前向きになったら、無限に楽しめます。それと私は視力が良くなりました！

（佐知子さん）

都会へのアクセスが1時間くらいっていうのもメリットですよ。本格的な田舎を楽しみつつ都会も楽しめるのが、豊平のいいところだと思います。あと近所の方に「10何年かぶりに子どもの声が聞こえた」と言われたので「うるさくてすみません」と謝ったら、「うれしかった」と言われました。ありがたいですね。

（伸也さん）

▲三戸 伸也（みと しんや）さん 30代
佐知子（さちこ）さん 30代
健吾（けんご）くん 6才
竜之介（りゅうのすけ）くん 4才
咲良（さくら）ちゃん 2才

移居前：島根県江津市

現住所：北広島町吉木（豊平）

移住年月：平成27年8月